

## 男性用貞操帯の装着方法

**注意事項** ベルトの種類と、Tollyboy 製品によるフィッティングが行われていないため、着用者に解剖学的に正しいプレシェイプを提供することはできません。しかし、スチールには焼き入れが施されており、手で簡単に操作することができます。スチールは、安全性を損なうことなく硬化したままです。

ベルトセットに付属するロックシステムは Tollyboy 製品独自のもので、非常に高い安全性を提供しますが、コンセプトはシンプルです。システムに慣れれば、使い方は簡単です。最初の作業は、ウエストベルトのロックを解除することです。

キーをロックに差し込み、内側に軽く力を入れながら反時計回りに回します。キーを回し続けると、ロックが外れて2本の回転防止ガイドピンが見えてきます。ロックが完全に外れるまでネジを緩め、およそ5~7回転させます。最後の2回転は、ロックがガイドピンからほとんど外れないように平行に保ち、ねじが交差しないようにしてください。

ベルトは肌に密着するように設計されているため、下着の上から着用することはできません。ウエストバンドは、ウエストに装着するのに十分な程度に開き、ガードが背中と脚の間の中心にかかるようにする。着用者が両手を頭の上に伸ばし、ウエストを最小にするようにするとやりやすい。ウエストバンドはウエストにぴったりとフィットし、全周に渡って接触していなければならない。ウエストバンドは、ウエストにぴったりとフィットし、全周に渡って密着していなければなりません。このため、ある程度形を整える必要があるかもしれませんが、いずれにせよ、適度な期間着用すれば、ウエストの形にフィットするようになります。

これでペニス・シースを装着する準備ができました。

この処置の間中、陰茎を下に向けておくことが非常に重要です。これを怠ると、ペニスが硬くなったり、完全に勃起してしまい、シースを装着できなくなります。

装着は、シース内壁に潤滑剤を塗ると容易になります。ベビーオイルは、シース内壁が乾いたまま、短時間で皮膚が吸収するので、この目的には理想的です。シースは、ペニスがリラックスしているときにグリップするように意図されており、シースのサイズは、ぴったりとフィットするように計算されています。潤滑剤は、装着プロセスを助けるためにのみ使用され、それ以外の目的で使用されることはありません。シリコンエッジをガードに接着するための接着剤を弱める傾向があります。シースを下向きにして、ペニスの先端を上部に入れ、先端をつかむことができるように押し通し、ペニスの根元に対して硬くなるまでシースを上をスライドさせます。

最初のうちは、このプロセスに困難を感じるかもしれない。完全に成功する一つの方法は、ペニスの周りに包帯のような長さを巻き、緩い端をシースに通し、ペニスを引っ張ることです。もう一つの方法は、筒状の伸縮包帯を使うことである。勃起を防ぐため、この処置の間中、陰茎を下に向けておくことを忘れないこと。シースを装着したまま、ずれないように固定する。ガードを脚の間に持っていき、シースのスピゴットを鍵穴のスロットにはめ込み、ガードを高く持ち上げて、シースのロックングスピゴットとガイドピンをガードの穴のひとつに入れる（最初は真ん中の穴を使う）。その際、シースが所定の位置に固定されていることを確認し、シースではなくガードを操作する。ガードの上端をウエストベルトまで持っていき、上端をロックングスピゴットとガイドピンにかみ合わせる。ロックを取り付ける前に、ウエストベルトの継ぎ目とガードがネジ部にかからないよう、きちんと固定されていることを確認する。注意点として、ロックのねじ込み動作で無理にジョイントを合わせようとしないでください。ウエストバンドとガードを正しく固定するのが難しい場合は、着用者がこの位置で仰向けに寝ると、問題が軽減されることがあります。この位置で、体重がウエストバンドに戻り、関節の圧力が緩和されます。関節の位置が合い、正しく装着されていることを確認したら、ロックを装着する準備が整います。

ロックの外縁に赤と銀の小さなT字があるのがわかるだろう、**ロックは常にこのT字を上にして取り付けることが重要です**。ロックをガイドピンの上に置き、キーを挿入した状態で軽く内側に圧力をかけながら、キーを時計回りに回し、ネジ山をかみ合わせます。ロックが平行で、ねじが交差していないことを確認し、簡単に回るはずですが、ロックが完全にねじ込まれるまで、内側に圧力をかけながらキーを時計回りに回し続けます。ロックが十分に固まったらキーを抜きます。**締めすぎないでください**。必要ありませんし、安全性も向上しません。

ペニスシースの設定を確認する必要があります。これは、ペニスが出されるのを防ぐのに十分な高さに設定する必要がありますが、ペニスの根元を傷つけるような高さには設定しないでください。正しい設定は試行錯誤によってのみ見つけることができ、最初の装着から10時間後に陰茎の根元を調べる必要があります。多少の打撲は許容範囲ですが、皮膚が破れてはいけません。

設定に満足したら、ウエストベルトと同じ手順でロックを装着する。装着者は前かがみの姿勢をとり、後方からペニスの頭部がシースを貫通し、固定されていることを確認できるようにしてください。

経験上、MB/100を正しく装着することで、何の悪影響もなく、永久的に装着することができます。タルカムパウダーの使用を推奨する。着用者はおそらくあらゆる種類の問題を訴えるだろうが、唯一有効なのは皮膚が破れた場合であり、これは真剣に扱わなければならない。一度正しく装着すれば、キーホルダーは自信を持ってMB/100を装着したままにしておくことができるはずだ。

MB/100は水に浸けても害はありませんが、実際にはお風呂よりもシャワーの方が便利です。取り外し可能なシャワーヘッドを使えば、ガードを固定したまま下端を洗い流すことができ、ガードを外す必要もない。排尿については、少しモップがけをする必要がある以外、特に問題はない。鎖に残った尿をきれいにすることが重要であり、洗うことが良い習慣である。

鎖を引き離し、Dリングを折りたたんで肛門に隙間を作ることで、排便が容易になる。

ベルトの効果を十分に発揮させるには、力を抜いたときにシースが陰茎にフィットしていることが重要である。押し通すことができるはずですが、むしろ潤滑剤の助けを借りて引き抜く必要があります。しばらくして、シースを直径の小さいものに交換する必要性に気づくかもしれません。石鹸と水で十分です。

**注1.** ラジアル・ロックはドライで作動するよう設計されています、**油で潤滑しないでください。**

**注2** ウエストバンドの縁取りは糊付けされていません。これは洗濯の際に取り外しやすくするため。汗が一番多く、それが糊に染み込んでしまうようです。縁取りは洗濯してはがし、クリップで留めるだけだ。